

# あぶくま支援学校

# 同窓生・親の会だより

福島県立あぶくま支援学校 同窓生・親の会 会報係 令和5年3月10日発行

## 同窓生・親の会 会長あいさつ

### 「大切な仲間」

皆さん元気で過ごしていますか。皆さんの心と体は今日も元気ですか。今年度もまた、会う事が出来ませんでした。

今年度、私は、コロナ以前のよう一人で行きました。上映時間を調べ、乗る電車を調べ、お昼に何を食べるかを考えるのはとても楽しく、毎日見ている電車からの景色もキラキラ輝いていました。

来年度こそは、一緒にレクリエーション活動ができたらいですね。その時まで、心と体の健康を大切に過ごしてください。そして、お互いの笑顔を思い浮かべたりしながら、会える日を待ちましよう。

## 事務局長あいさつ

日頃より同窓生・親の会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年度は日常生活の行動制限が緩和されたとは言え、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、未だ様々な制約のある生活が続いている事と思います。

昨年度に続きレクリエーション活動も中止となり、「にじのお祭り」も一般公開はされませんでした。会員の皆様が顔を合わせる場

がなくなりとても残念です。来年度こそは、同窓生、保護者の皆様と笑顔でお会い出来る機会がある事を願っております。

まだまだ手洗い・消毒・マスク：と不慣れた日常が続くと思いますが、一日も早くコロナ禍が収束して普通の社会生活に戻ります様願っています。

## 校長あいさつ

### 「つながる思い」

同窓生・親の会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご支援いただき、心から感謝申し上げます。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響により、会員同士の交流の場であるレクリエーション活動が中止となったり、にじのお祭りはじめ、学校の活動の様子をご覧いただく機会がなくなりました。今年度はコロナ禍ではありませんが、11月末にイオン郡山フエスタ店で作品展示と高等部作業製品販売会を開催し、高等部の生徒が販売活動を行いました。また、ビッグアイや中田町ふれあいセンターでも作品展示が行われ、広く児童生徒の学習の様子を伝えることができました。

これからも顔を合わせて交流したり、学校の様子を伝える機会に触れてもらったりしながら、会員同士がつながる機会やつながる思いを大切にしていきたいと考えています。

## 「クオカードをもらって」

平成三十年度卒

QUOカードが届きました。私は、まだ使っていないですが、毎月好きな雑誌を買っているの、QUOカードを使っているの、QUOカードを使っているの、一度も参加した事がないので参加出来ればいいなと思っています。戴いたQUOカードを大事に使いたいと思います。

平成三十年度卒

私は、去年、実家をでました。今は一人暮らしをしています。一人で生活するのは大変ですが、日々過ごしています。その中でQUOカードを買って、少しでも買える有り難さを感じました。この時期、コロナで大変かもしれないですが、早く収まるように、また学校行事等で再会出来るように願っています。

## 「作品展示会を見に行こう」

令和三年度卒

私は、十一月二十七日に行きました。日曜日は、高等部の製品販売会をしていませんでしたので、展示を見て来ました。小・中学部の作品で、知り合いの後輩が作った物を見つけて、丁寧に出来ていると思えました。中・高等部の作業内容が壁新聞や製品で紹介されています。

令和三年度卒

仕事が休みの日曜日に、母と見に行きました。会場に着くと、田辺先生にお会いしておどろきました。先生とは、今の私の仕事や高等部の時の話をしました。展示されているパネルや作品を見ていたら、家庭班や工芸班での楽しかった作業を思い出しました。先生方や学年のみんなに会いたくなりました。

清掃班のことに、後輩の顔写真が写っています。



11.26(土)～28(月) ショッピングモール・フェスタ店で実施されました。製品販売会は、28(月)午前中に行われました。

今年もまたフェスタ展を楽しみにしています。在校生のみなさん、作業がんばってください。応援しています。



